

公開質問状 質問リスト

関西電力株式会社 取締役社長 八木誠殿

2012年3月23日

申請者 グリーン・アクション

代表 アイリーン・美緒子・スミス

関西電力 原発停止による発電能力見込みについて

質問番号	質問内容
質問 1	<ul style="list-style-type: none">・2012年夏の発電能力が2353万kWと設定されています。原発を除いた2011年夏の発電能力2728万kW(推定)に比べて375万kW低い値になっている理由をお教えてください。・また今年の夏の原発全停止は十分に予想されることですが、貴社自身が電力供給者として、原発全停止を想定しての電力量確保の計画を作成しているのなら資料の提示をお願いいたします。
質問 2	<ul style="list-style-type: none">・2012年夏の最大需要を3138万kWと設定していますが、計算の際に貴社の節電要請資料の計算手法を適用しなかった理由をお教えてください。・また計算手法を適用した場合の結果をお教えてください。グリーン・アクションが計算してみると、2012年の最大需要予測は2949万kWでした。・また温度補正と経済成長を設定して計算した2012年の最大需要予想値をお教えてください。
質問 3-1	<ul style="list-style-type: none">・2011年夏(7月、8月)の電力需要は、ピークは8月9日の2785万kWでしたが、2700万kW以上は2日間、2600万kW以上でも7日間、しかも13時～17時の間だけでした。高い設備稼働が必要なのは限られた日数、時間帯です。その間に限定して定格出力に近い稼働率を前提にできない理由をお教えてください。
質問 3-2	<ul style="list-style-type: none">・2012年夏の水力・揚水発電の発電量は356万kW(稼働率43%)となっていますが、2011年夏の発電量実績は524万kW(実績稼働率64%)でした。昨年実績並みの発電量を維持できない理由をお教えてください。・さらに夏のピーク時に限定して揚水の稼働率を定格出力の90%以上に設定できない理由をお教えてください。
質問 3-3	<ul style="list-style-type: none">・夏のピーク時に限定して火力発電の稼働率を定格出力の90%以上に設定できない理由をお教えてください。
質問 4	<ul style="list-style-type: none">・2012年夏に向けた能力増強計画が提示されていますが、追加の能力増強計画をお教えてください。・また計画停止中の火力発電所が再稼働できない理由をお教えてください。
質問 5	<ul style="list-style-type: none">・他電力会社からの融通電力の増加の可能性についてお教えてください。
質問 6	<ul style="list-style-type: none">・資源エネルギー庁が推奨している卸・IPP・自家発電の活用拡大の契約状況をお教えてください。
質問 7	<ul style="list-style-type: none">・昨年の需給調整契約は88万kWと報告されていますが、発電能力に織り込まれていない理由をお教えてください。・また今年の需給調整契約の見込みをお教えてください。
質問 8	<ul style="list-style-type: none">・グリーン・アクションが計算してみた2012年の夏の発電能力は3051万kWでした。これは定格能力と他社融通等の実績を合わせた3399万kWに対して、妥当だと思われる稼働率を想定したものです。この発電能力を前提にすると、グリーン・アクションが計算した2012年夏の電力需要2949万kWに対して、原子力が全停止しても電力不足は発生しないという結果になります。結果の妥当性についてご意見をお寄せください。

グリーン・アクション (人をつないで脱原発をめざす市民団体)

〒606-8203 京都市左京区田中関田町 22-75-103.

Tel: 075-701-7223/携帯 090-3620-9251(スミス) Fax: 075-702-1952 <http://www.greenaction-japan.org/>